

# 2012年度第1四半期業績の概要

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2012年7月30日

\* 7ページの(参考)は8月23日付で更新

LEAD THE VALUE

# 2012年度第1四半期業績の概要

## 主な財務指標

業務純益*1		SMBC単体
通期予想比 約29%	【2012年度業績予想】 7,500億円	2,138億円

クレジットコスト		SMBC単体
通期予想比 約1%	【2012年度業績予想】 ▲1,000億円 (上期予想: ▲300億円)	▲5億円

経費率		SMBC単体/SMFG連結
目標内に コントロール	【2013年度目標値】 単体経費率: 40%台後半	46.5%
	【2013年度目標値】 連結経費率: 50%台前半	52.2%

四半期純利益		SMFG連結
通期予想比 約25%	【2012年度業績予想】 4,800億円	1,178億円

## 1株当たり情報 (SMFG連結)

	12年度 4-6月	前年 同期比	12年度 (予想)
1株当たり 四半期純利益	87.04円	▲61.43円	354.52円

	12/6月末	12/3月末比
1株当たり純資産	3,776.36円	▲80.01円

\*1 一般貸倒引当金繰入前

# (参考) 2012年度第1四半期業績

## P/L

		(億円)		12年度 4-6月	前年 同期比	上期 予想	12年度 予想
SMBC 単体	業務粗利益	3,993	+98	7,300	14,700		
	うち 国債等債券損益	792	+209				
	経費 <sup>*1</sup>	▲1,856	▲27	▲3,600	▲7,200		
	<経費率>	46.5%	△0.4%	49.3%	49.0%		
	業務純益 <sup>*2</sup>	2,138	+71	3,700	7,500		
	与信関係費用	▲5	▲319	▲300	▲1,000		
	株式等損益	▲693	▲376				
	経常利益	1,324	▲616	3,100	6,000		
四半期(当期)純利益	710	▲964	2,000	3,800			
SMFG 連結	経常利益	2,377	▲635	4,600	9,100		
	連単差	1,053	▲19	1,500	3,100		
	四半期(当期)純利益	1,178	▲888	2,500	4,800		
	連単差	468	+76	500	1,000		

## 主要グループ会社の 連結四半期純利益寄与(概数)

	(億円)		12年度 4-6月	前年 同期比
SMBCコンシューマー ファイナンス(旧プロミス) <sup>*3</sup>	210	+200		
三井住友 ファイナンス&リース	60	+0		
セディナ	60	+40		
SMBC日興証券	40	▲0		
三井住友カード	40	▲0		

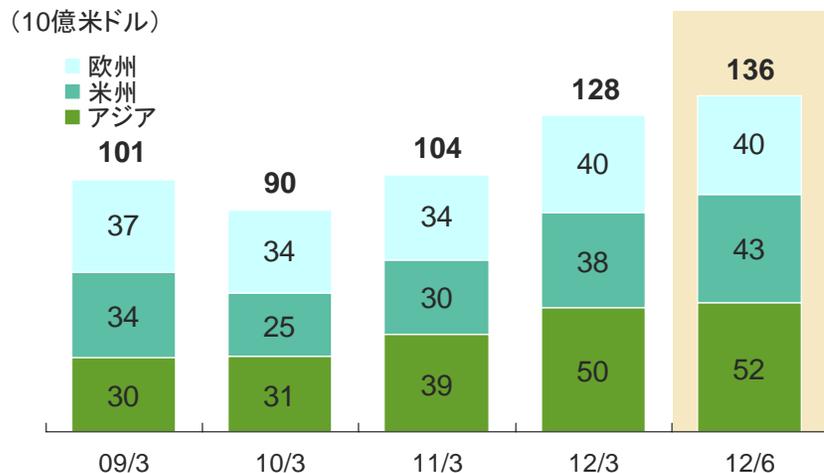
## 格付(SMBC)

Moody's	Aa3 / P-1	R&I	A+ / a-1
S&P	A+ / A-1	JCR	AA- / J-1+
Fitch	A- / F1		

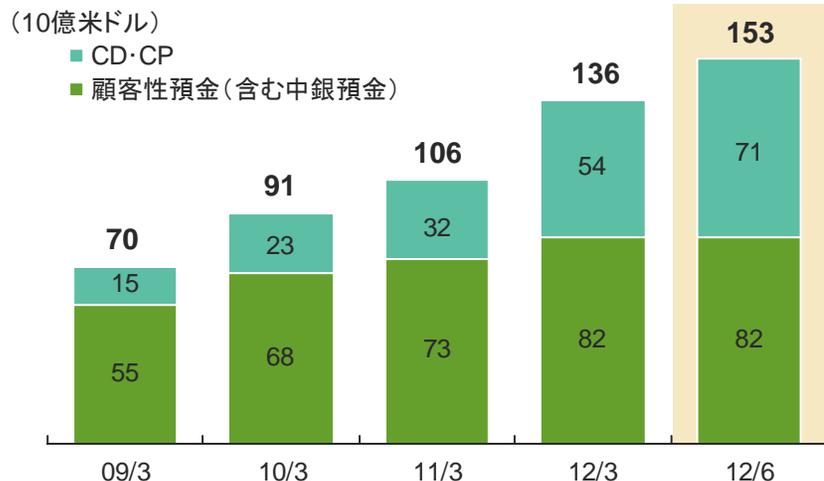
\*1 臨時処理分を除く \*2 一般貸倒引当金繰入前  
\*3 2011年12月に連結子会社化したため、前年度第1四半期は22%出資の  
持分法適用会社、今年度は連結子会社

# (参考)「グローバル展開」の進捗状況

## 海外貸出金残高\*1



## 海外預金等残高\*1



## グローバル展開

### RBSグループからの航空機リース事業の共同買収完了

- 6月1日付で完了、SMBC Aviation Capitalとして業務開始
- 取得価額は約73億米ドル\*3。  
出資比率はSMFL60%、SMBC30%、住友商事10%
- SMBC Aviation Capitalは既存借入のうち30億米ドルをJBICでリファイナンス

拠点網拡充	ニューヨーク支店リマ出張所	ニューデリー支店*2
組織新設	アジア投資銀行営業部	
資本・業務提携等	中郵基金(中国、資産運用会社)<出資等> カンボウザ銀行(ミャンマー)<技術支援等>	

## 外貨資金調達が多様化

- 海外機関投資家向け外貨建シニア債発行(12/7月)
- 国内個人向け外貨建シニア債発行(12/6月)

### 外貨建て債券発行額(百万通貨単位)



\*1 内部管理ベース(各期末換算レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算

\*2 支店開設にかかる認可取得 \*3 最終的な金額は2012年5月末の資産・負債の額により調整

# (参考)「銀証連携」の進捗状況

## SMBC日興証券(連結)業績推移

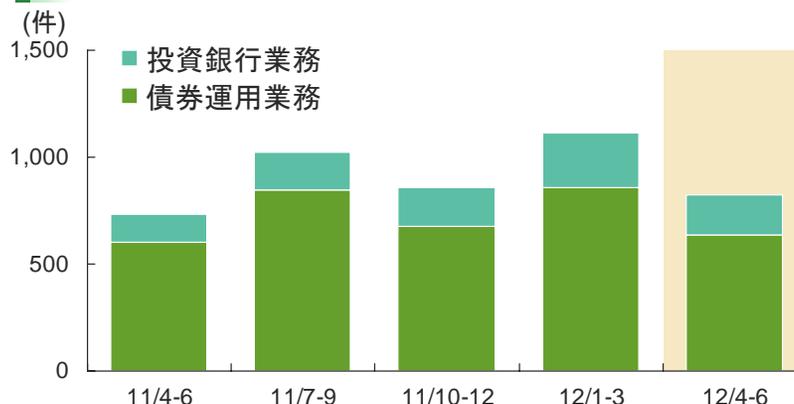
(億円)	11年度	12年度 4-6月	前年同期比
純営業収益	2,288	552	▲3
販売費・一般管理費	▲1,851	▲458	▲1
経常利益	445	98	▲3
当期純利益*1	194	39	▲1

## トピックス

- 個人向け復興国債・個人向け復興応援国債の7月債につき、総発行額の約35%を販売  
(6月の販売額:1,807億円)
- 日興JFアジア・ディスカバリー・ファンドの当初設定額が、リーマンショック以降の国内設定投信の投資信託で最大規模(当初設定額:1,313億円)

## 銀証連携

### SMBCからSMBC日興証券への紹介件数



### リーゲテーブル(2012年4-6月、SMBC日興証券)

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額)*2	5位	5.7%
円債総合 (主幹事、引受金額)*3	5位	6.4%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額)*4	5位	33.0%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数)*4	5位	2.0%

\*1 2011年度は法人税率の引下げ等の税制改正影響▲48億円を含む

\*2 出所:トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算ベース) \*3 出所:SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債)

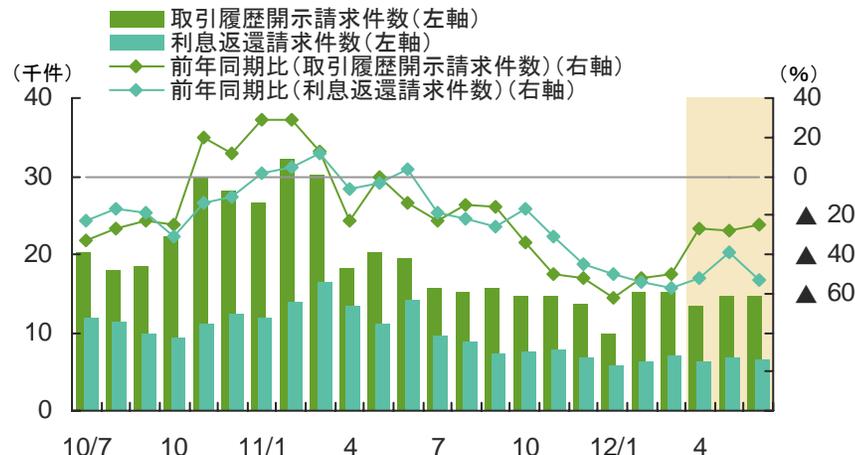
\*4 出所:トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))

# (参考)コンシューマーファイナンス事業

## コンシューマーファイナンス事業の再編

- プロミスを完全子会社化(4月)、SMBCコンシューマーファイナンスへ社名変更(7月)
  - 経営の機動性向上、グループ各社間の連携強化
- オリックス・クレジット株式をオリックスへ譲渡(6月)
  - SMBCとSMBCコンシューマーファイナンスに経営資源を集中

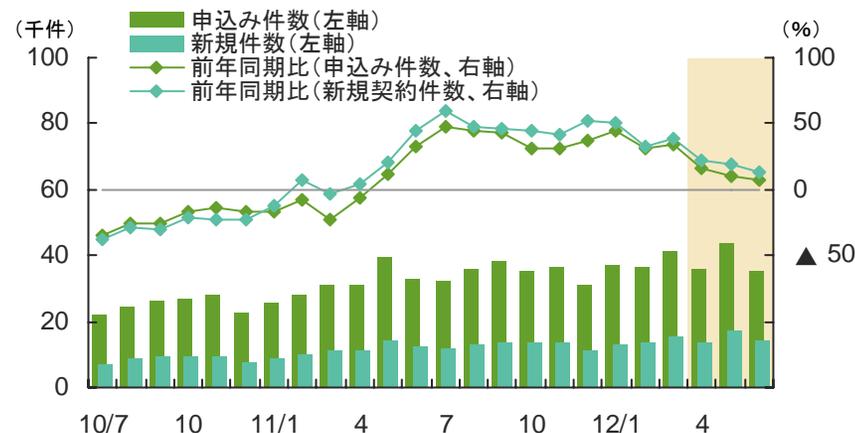
## 取引履歴開示と利息返還請求件数 (SMBCコンシューマーファイナンス\*2)



## SMBCコンシューマーファイナンス(連結)業績推移

(億円)	11年度	12年度 4-6月	前年同期比
営業収益	1,962	469	▲35
経常利益*1	▲1,555	220	+184
当期純利益*1	▲1,696	213	+173
営業貸付金残高	7,593	7,522	

## 申込・新規件数の状況 (SMBCコンシューマーファイナンス)

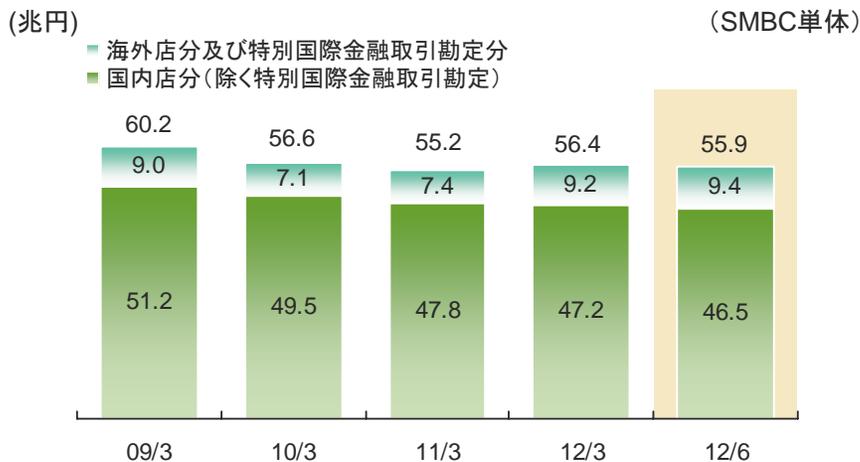


\*1 2011年度において、利息返還への抜本的な対応として利息返還関連の引当金を追加繰入

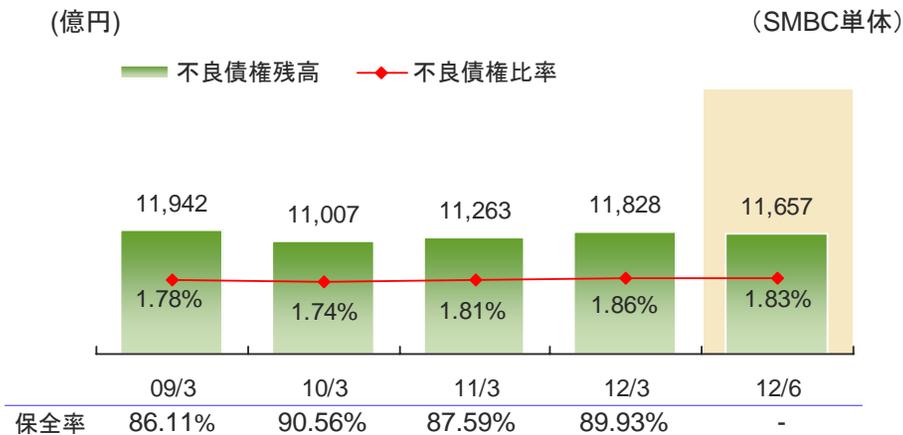
\*2 SMBCコンシューマーファイナンス単体(10/9月までは、旧プロミス単体+旧三洋信販の単純合算)

# (参考) バランスシート関連主要項目の時系列推移

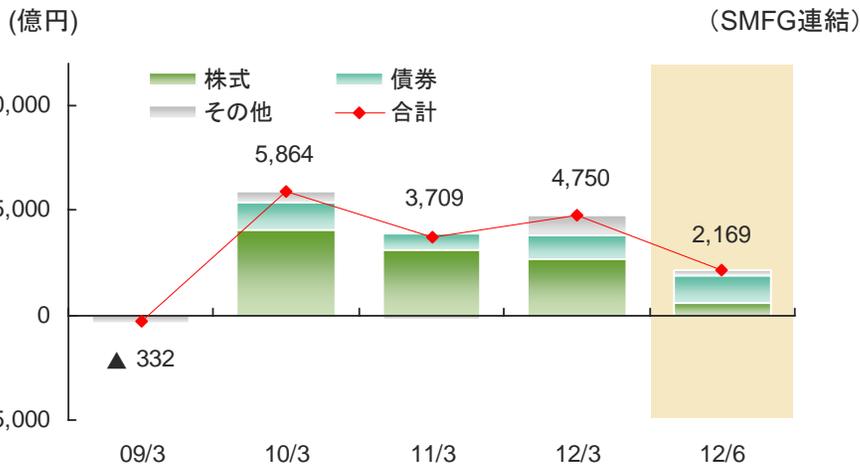
## 貸出金残高



## 不良債権残高及び同比率\*1



## その他有価証券評価損益



## 自己資本関連\*2



\*1 不良債権比率=金融再生法開示債権残高(除く正常債権)/総与信

\*2 Basel II ベース。信用リスクアセット計測手法: 先進的内部格付手法(AIRB) オペレーショナルリスク: 先進的手法(AMA)

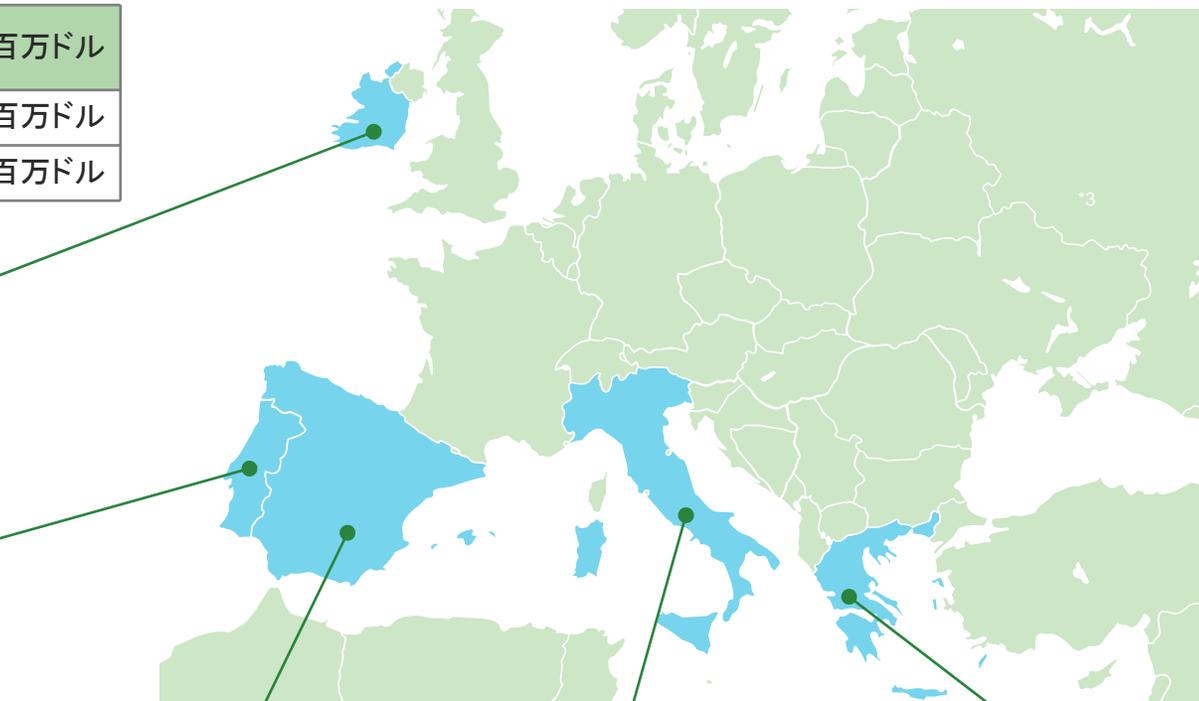
# ■ (参考)GIIPS向けエクスポージャー

12年6月末のGIIPS向けエクスポージャー: 約72億ドル\*1

GIIPSの 国債保有残高*2	約4.3百万ドル
スペイン	約4.1百万ドル
イタリア	約0.2百万ドル

<b>アイルランド</b>
約14億ドル*1
航空機リース

<b>ポルトガル</b>
約0.5億ドル



<b>スペイン</b>
約26億ドル*1
大企業向け、 プロジェクトファイナンス

<b>イタリア</b>
約29億ドル
大企業向け、 プロジェクトファイナンス

<b>ギリシャ</b>
約2.4億ドル*1
航空機リース

\*1 SMBC Aviation Capital連結化影響: アイルランド約10億ドル、スペイン約3億ドル、ギリシャ約1.8億ドル

\*2 証券子会社がセカンダリー業務で保有

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。